

SKYMENU 活用授業 実践レポート

名前	松山 真司	学校名	西宮市立甲武中学校
実施学年	中学校1年生	教科	社会科
单元名	世界の諸地域 ヨーロッパ州「EU がかかえる課題」		

《学びを深めたいポイント》

ヨーロッパ州の統合をめぐるさまざまな動きについて理解することが単元の目標である。イギリスの EU 離脱を通して、EU の課題について考察し、少人数のグループ学習を通して生徒同士で意見交換をし、さまざまな視点から課題を追求させる。そして、イギリスの EU 離脱の是非について、他者の意見もふまえて自分の意見をまとめることで学びを深めたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

EU という言葉は知っているが、詳細なイメージを持っていない生徒が多かった。導入で発表ノートを活用しクイズを行った。クイズの選択肢が色分けして書いてある発表ノートを生徒に配布して EU に関する3択クイズを出し、学習意欲を高める。生徒の答えを画面一覧で電子黒板に表示すると、クラスでどの選択肢を選んだ人が多いかがすぐにわかる。次にポジショニング機能で学習課題「イギリスはEUを離脱して良かったのか、残留した方が良かったのか。」を選択し、意見を可視化する。グループの話し合いの前と後で、どれぐらいの生徒の考えが変わったのか（または変わらなかったのか）をわかりやすく表すために、もう1度ポジショニングを活用した。そして、誰の、どのような考えで自分の考えが変わった（増えた、深まった、決まった）かを発表ノートに記述し提出させた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	【前時の復習】 ○EU に加盟すると、どんな良いことがありましたか。 ・人、モノ、金の移動が自由になったこと。平和の実現、経済発展、科学技術の発展など、EU のメリットを確認。 【イギリスの EU 離脱】 ○そんな中、2020 年に EU を離脱した国はどこでしたか。 ・イギリスが EU を離脱したことを確認。 ○なぜイギリスは EU を離脱したのだろう。 ○イギリスが EU に払うお金は年間いくらか。 ○イギリスには何人の移民がいるか。 ・約1億 9000 万円/約 1900 億円/約1兆9千億円、約 54 万人/約 854 万人/約 1201 万人の三択で聞く。答えは約1兆 9 千億円と約 854 万人(2015 年) ○海外に移り住んだとき必要な物は何か。 ・「住居、お金、食べ物」などと答えると思うが、イギリス人が移民によって仕事がうばわれると考えたことまでは言わない。	[発表ノート]を配布 	クイズの選択肢が色分けして書いてある発表ノートを生徒に配布。 生徒の答えを画面一覧で電子黒板に表示すると、クラスでの選択肢を選んだ人が多いかがすぐにわかる。
展開	【学習課題提示】 イギリスはEUを離脱して良かったのか、残留した方が良かったのか。 【学習前の自己の考えを表出】 	[ポジショニング機能] で学習課題「イギリスはEUを離脱して良かったのか、残留した方が良かったのか。」どちらかを選択。	・これまでの学習や経験等を根拠として入力。 ・理由の入力はしない。 ・全体の回答の様子を電子黒板に投影

	◎自分の意見は一旦置いておき、この後、離脱あるいは残留派になったつもりで議論してもらいます。相手を納得させるために、実際のイギリス人の意見※を読んでも、大事だと思うことを発表ノートにまとめよう。 ・奇数列に離脱派の意見、偶数列に残留派の意見が書いた資料を配布。	[発表ノート] 配布 ・離脱派は赤、残留派は青のページを使用。
	【4人グループの対話】 ◎1～9のグループに入り、どちらの選択が良かったのかを議論しよう。	[グループワーク機能]を使用。 ・4人で1グループを構成し、学習課題に対する考えを対話させる。
まとめ	【学習後の自己の考えを表出】 ◎グループでの交流をふまえて、もう1度「イギリスはEUを離脱して良かったのか、残留した方が良かったのか。」1回目の結果をふまえて入力しましょう。 ◎発表ノートに学習のふりかえりを入力し、提出しましょう。	[ポジショニング] ・1回目と2回目に何を選んだかによって、4パターンの回答になる。(別紙参照) [発表ノート] ・誰の、どのような考えで自分の考えが変わった(増えた、深まった、決まった)かを記述。

※資料:実際のイギリス人の意見

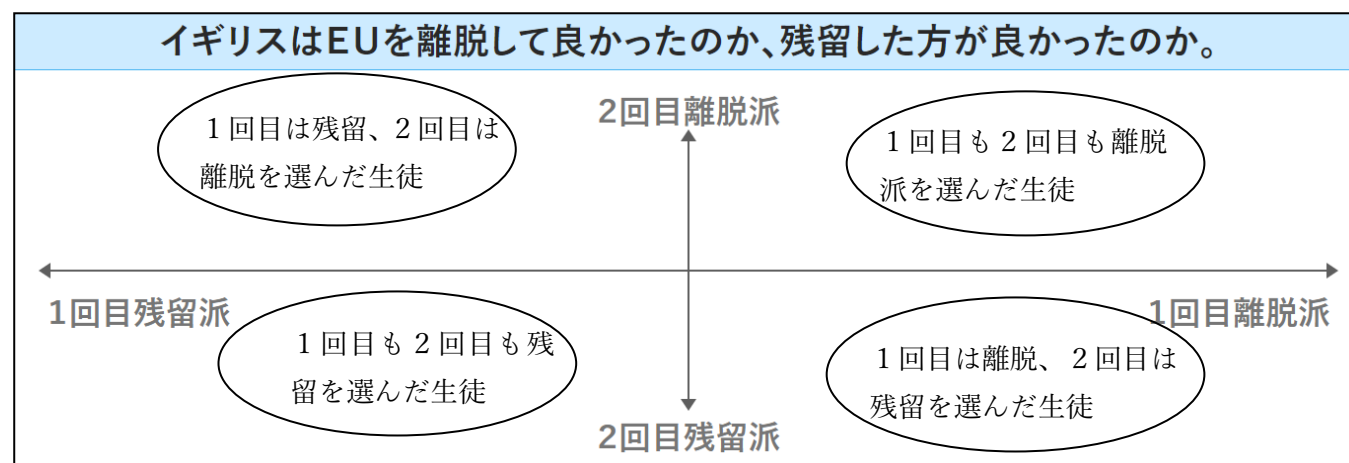
【EU 残留派の意見】

- ・「お互い援助し合う」ことが EU の基本的な考え方だ。その考えに賛成したから EU に加盟したはずだ。
- ・EU を離脱すると関税が復活して、自由な貿易ができなくなる。イギリスにある外国企業は出て行ってしまう。
- ・ヨーロッパを自由に移動できなくなり、若い世代の活動の場がせばめられてしまう。
- ・成功しているときは参加して、問題が出てきたら離脱するのは、身勝手すぎて信用を失う。
- ・イギリスが離脱すると、ヨーロッパの平和が崩れ、再び戦争の危険性が高まる。

【EU 離脱派の意見】

- ・離脱したら、EU へ出している1兆9000 億円はイギリス国民のために使える。
- ・借金をかかえている国に援助しているが、借金はその国の責任だ。
- ・東ヨーロッパから大勢の労働者がやって来た。そのため、イギリス人は仕事を失ったりしている。
- ・EU のルールにしばられたくない。自分たちのことは自分たちで決めたい。
- ・戦争の危険について言うなら、ロシアや中国との関係をどうするかの方が重要だ。

□ ポジショニング2回目



《実践を振り返って》

最初のクイズでの導入から生徒らの反応が良く、感嘆の声や疑問の表情などが多く見受けられた。SKYMENU の機能によりリアルタイムに意見を可視化し、共有することができた。離脱の是非を問う議論も白熱し、生徒が課題を把握し、主体的に動くことができた。課題としてはタイピングスピードが伴っていないため、自分の考えを100%文字に起こすことができない生徒もいたことである。